

大平千恵子先生のご逝去を悼み、謹んで哀悼の意を表します。

大平先生を失ったことは、TICAにとって多大な損失です。

大平先生は、TICAが日本でそのスタートをきるうえで大きな足掛かりとなりました。その功績により、アメリカはもちろんのこと、特に日本において多大なる尊敬を集めておられました。TICAが今日の発展にいたり、また組織となり得たのも、彼女がアジア・リジョンのディレクターとしてリーダーシップを発揮していただいたおかげです。

大平先生は、オールブリードジャッジ、またインストラクターとして、多くのジャッジを指導されました。

優雅なハンドリング、やさしいハンドリングで、猫たちも観る人をも魅了しました。

1996年には、Judge of the Year に選出され、その後、TICAの宝として登録されました。

TICAのメンバーは、その大きな存在を失った悲しみを、ことあるごとに感じると思います。大平先生をよくご存知の方は、生きることへの熱意、猫界に寄せる愛情、彼女の笑い声を忘れることはないでしょう。また、大のお買物好きと、紫色を好まれたことも思い出される方は多いのではないのでしょうか。

何年か前のことですが、光栄にも大平先生のクラブにジャッジとして招待されました。日本で初めてのジャッジでした。私の中で、この日本での経験と、素晴らしいレディ、素晴らしいリーダーにして素晴らしいメンバーである先生の思い出は、終生の宝物です。彼女は、私の真の友人の一人です。

私のお悔みの気持ちは、悲しみの中にあるご家族、お友達、そして日本のTICAの皆様とともにあります。

TICA 会長
Fate Mays